

健康ガイド

新型コロナウイルス
クイックマニュアル
平成21年7月22日作成
(平成21年10月22日改訂版)

保健管理センター

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

tel. 098-895-8144

備蓄品リスト

新型インフルエンザが流行すると生活に欠かせない活動にも影響が出ることも想定され、感染を防ぐためには不要不急の外出をしないことが原則である。災害時と同様に外出しなくても良いだけの最低限(2週間程度)の食糧・日用品等は準備することが望ましい。

- マスク(1人20~25枚)、手袋、ゴーグル、消毒薬、医薬品
- 保存食(米、インスタント食品、レトルト食品、缶詰、冷凍食品)
- ティッシュペーパー、トイレトペーパー、生理用品、洗剤、ビニール袋
- 飲料水、懐中電灯、乾電池、ラジオ、手回し発電機、カセットコンロ、現金

37.5℃以上の発熱者への注意点

1. 新型インフルエンザ感染の可能性がります。最寄りの医療機関をへ問い合わせて受診して下さい。受診後は、医師の指示に従って下さい。
2. 新型インフルエンザかどうか確定するまでの間、感染拡大させない行動をとる必要があります。自宅静養(待機)して下さい。
3. 解熱後の登校・出勤の解禁日に関しては、所属部署の許可を取って下さい。

県内の発熱相談機関

- ☆ 南部保健所
TEL 889-6591
- ☆ 中央保健所
TEL 854-1007
- ☆ 中部保健所
TEL 938-9701
- ☆ 北部保健所
TEL 0980-52-5219
- ☆ 宮古保健所
TEL 0980-73-5074
- ☆ 八重山保健所
TEL 0980-82-4891

情報源

WHO http://www.who.int/csr/disease/avian_influenza/en/
厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
外務省 海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp>
国立感染症研究所 <http://www.nih.go.jp/niid>
沖縄県ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/hukushihokenkikaku/files/influenza/influfamepage.htm>

参考文献

「インフルエンザとキャンパス感染症ガイドブック2009」国立大学法人保健管理施設協議会 エイズ・感染症特別委員会

新型インフルエンザ

季節性インフルエンザとは異なり、ヒトが免疫を持たないインフルエンザのことです。現在、フェーズ6の状況である豚インフルエンザ(N1H1型)は、90年前にパンデミックをおこしたスペイン風邪の亜型の可能性であることが報告されています。いまのところ致死率はそれほど高くないと報告されていますが、今後高病原性に変異する可能性があります。一方、高病原性鳥インフルエンザ(H5N1型)ウイルスが突然変異して、ヒトに感染する新型インフルエンザになった場合は、爆発的に流行する可能性が危惧されています。90年前に大流行したスペイン風邪では世界中で5000万を超える人が亡くなりましたが、新型インフルエンザの致死率がスペイン風邪と同じと仮定すると国内で最大64万人が死亡すると政府は予想していますが、死者数が増えたとの予測もあります。

高病原性鳥インフルエンザ(H5N1型)の臨床上のポイント:

- ✓ 感染するとほとんどすべての人が発病します。
- ✓ 症状の出る前日からウイルスを排出するので、感染拡大がおこる。

主症状

- ☑ 全身症状: 発熱(37.5℃以上)、出血傾向、多臓器不全
- ☑ 呼吸器症状: 乾性せき、血痰、呼吸困難
- ☑ 消化器症状: 下痢、腹痛
- ☑ その他の合併症: 脳炎、心筋炎、胎盤・胎児感染

治療および対処法

- ☑ 特効薬はありません。
- ☑ ワクチン: プレパンデミック、パンデミックワクチンが準備中です。これらワクチンはハイリスク群や社会機能維持のための職種に優先的に接種されます。
- ☑ 抗ウイルス薬(タミフル®、リレンザ®など)の治療投与、早期投与が必要です。ただし、本邦では、10代へのタミフル®投与は原則禁止です。
- ☑ 入院病床(ベッド): 新型インフルエンザが大流行すれば1300~2500万人が受診し、入院病床が53~200万人必要と予想されますが感染症指定医療機関はわずかに338病院、1698床のみです。患者数が増えると、症状の軽い患者は自宅静養となります。このことから、感染の予防が重要です。

新型インフルエンザのパンデミックがおこったとき

- ⚠ 不要・不急の外出(通学、通勤、買い物、旅行など)をしない。
- ⚠ 移動手段は公共交通機関をやめて徒歩か自転車を利用する。
- ⚠ マスクを常時携帯する。
- ⚠ 外から戻ったら必ず手洗い、うがいをする。
- ⚠ 発熱などの症状があるときには、すぐに最寄りの医療機関病に駆け込みず、保健所あるいは発熱外来に電話相談する。

咳エチケット

咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。

鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐにフタ付きの廃棄物箱に捨てるかビニール袋に入れ密封。

咳をしている人にマスクの着用を促す。